


長崎県の学校・教育に関する 子どもアンケート

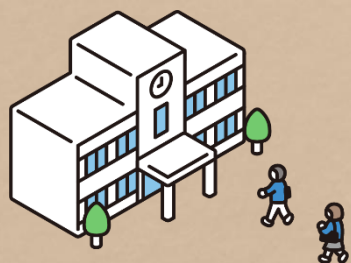
意見の反映状況 (フィードバック)

令和6年3月21日

 長崎県教育委員会

目次

1. アンケートの概要と結果まとめ	P2
2. みなさんからの意見への対応	P3
①「第四期長崎県教育振興基本計画」への意見の反映	P4
②「第五次長崎県子ども読書活動推進計画」への意見の反映	P9
③「令和6年度の長崎県主要施策」への意見の反映	P11



1. アンケートの概要と結果まとめ

調査期間 : 令和5年7月13日(木)～7月28日(金)

調査対象 : 長崎県内の小学校(5～6年)、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校(小学部5年生以上)に在学する児童生徒

調査目的 : こども基本法第11条の趣旨を踏まえ、本県の子どもたちから直接、学校生活や教育に関する意見を聴くことで、子どもたちの意見を表明する機会を確保するとともに、教育ニーズを的確に把握し、より実効性ある教育施策の企画・立案等に繋げること。

調査方法 : WEB (Microsoft Forms) による回答

回答数 : 10,026名



設問 : 下記のとおり(1～16)



1. どの学校に通っていますか?
2. 通っている学校は公立ですか、私立ですか?
3. どこの地域に住んでいますか?
4. (中学生) 高校を選ぶ時に重視したいことは何ですか?
(高校生) 現在通っている高校を選んだ理由は何でしたか?
5. 理想の先生はどんな先生ですか? どんな先生に教わりたいですか?
6. 外国のことについて学ぶ際に、あなたが取り組みたいことは何ですか?
7. ICTを活用し、どのように勉強をしたいですか?
8. あなたが地域のことについて学ぶ際に、やってみたいと思う活動は何ですか?
9. 地域の図書館(学校図書館以外)に1か月に何回くらい行きますか?
10. 読書をするきっかけは何ですか?
11. 電子書籍(スマホやタブレットで読める本)を読んでいますか?
12. 電子書籍と紙の本とではどちらで読書をする人が多いですか?
13. 放課後を過ごす居場所として、あれば利用したいものはどんな場所ですか?
14. あなたの周りがあると生活の充実につながると思うものはどんな場所ですか?
15. わからないこと・調べたいことがある時にあなたが調べる方法は何ですか?
16. 理想の学校や教育について意見や提案を自由に記入してください。

2. みなさんからの意見への対応

- ・アンケートでいただいたご意見はすべて読んで、これからの計画や取組に反映できるかどうかを検討しました。
- ・みなさんの意見がどのように県教育委員会の計画や教育・子育て等の取組に反映されたかをまとめました。以下の3つに分けて紹介します。

- ① 「第四期長崎県教育振興基本計画(R6~R10)」への意見の反映 P 4 へ
(計画を見たい方は→[こちら](#))
- ② 「第五次長崎県子ども読書活動推進計画(R6~R10)」への意見の反映 P 9 へ
(計画を見たい方は→[こちら](#))
- ③ 「令和6年度の長崎県主要施策」への意見の反映 P 11 へ
(実施事業を見たい方は→[こちら](#))



- ・また、「アンケート結果の概要」は、県教育委員会・県庁の各課、市町教育委員会、各学校などにお知らせしたほか、多くの方々知ってもらえるよう県教育委員会のホームページでも公開しています。
(「アンケート結果の概要」を見たい方は→[こちら](#))

- ・反映できなかった意見も、今後の参考にさせていただきます。

たくさんのご意見
ありがとうございます
ございました



①「第四期長崎県教育振興基本計画」への意見の反映

みなさんの意見

- 「No.5 理想の先生はどんな先生」で、「授業の教え方が分かりやすい」が小中高全てで最も多い
- 勉強が好きになるような楽しい授業をしてほしい(小学生)
- いろんな中学校の人達と交流して考えを深めたい(中学生)
- 授業でも周りの人と話し合いながら理解を深められる中学校の時みたい授業をしたい(高校生)

- 地域に根ざし、地域の人と触れ合いながら地域の課題も解決できる学校がいい(高校生)
- 長崎の伝統的なものや行事を学ぶ活動があると、これからの時代の後継者も増えるのではないかと思う(中学生)
- 学校で長崎の伝統のことを教わったり、地域の人達と交流をしたい(小学生)

ポイント

- 勉強がもっと分かるようになりたい、深く学びたい
- 話しあったり、交流したりする学習をもっとやりたい



- 地域の人と交流しながらふるさとのことを学んだり、地域の課題に取り組むことをやりたい



書いてある場所

柱01-① 成長の基盤となる資質・能力の育成 《確かな学力の育成》

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を推進(P14)
- 子どもたちが主体的に考え、多様な他者と協働的に議論しながら、納得解や最適解を導き出すことができる力を育成(P14)

柱02-② 「ながさきの魅力を心と記憶に刻む」「人と産業に出会う」ふるさと教育の推進

- ふるさとへの正しい理解を深めるとともに、郷土愛を育成(P15)
- ふるさとのよさを再発見できるような取組を推進(P15)
- 子どもたちの「ふるさとで活躍したい」「ふるさとを離れていてもふるさとに貢献したい」という心を地域ぐるみで育む(P15)
- 子どもたちが地域の課題を主体的に発見し、地域の多様な他者と協働しながら課題解決する探究学習の充実(P16)

①「第四期長崎県教育振興基本計画」への意見の反映

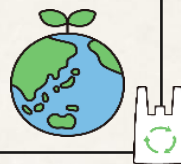
みなさんの意見

- 総合的な学習の時間で、もっと自然と触れ合える活動をやってみたい(中学生)
- 体験学習をもっと増やして経験を増やしたい(小学生)

- もっと企業での体験実習をやりたい!(特支高等部)
- 障害児と健常児と一緒に過ごす時間をもっと増やしてほしいです(特支小学部)
- 障害がある人とも交流してみたい(小学生)
- 障害のある人たちとスポーツで交流をしたい(中学生)

ポイント

- 教室を離れて自然と触れ合ったり、様々な体験活動をやりたい



- 障害のある子どもと障害のない子どもの交流する機会を増やして欲しい

- 障害のある子どもの職場体験を充実して欲しい



書いてある場所

柱01-③

ながさきならではの地域資源を活かした体験活動の提供

- 自然や歴史・文化等の地域の特性を活かした体験、地域で活躍する人々との交流など、学校内外での体験活動の充実による、子どもたちの豊かな人間性や社会性の育成(P16)

柱01-④

インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の推進

- 一人一人の可能性を引き出し、多様な進路ニーズに対応するため、企業等と連携した職業教育の充実や在宅勤務を見据えたICT活用に必要な知識や技能の習得など、キャリア教育を充実(P17)
- 障害のある子どもと障害のない子どもが共に活動する交流及び共同学習を一層推進するなど、互いの違いを認め合い地域とのつながりを深めるための取組の充実(P17)

①「第四期長崎県教育振興基本計画」への意見の反映

みなさんの意見

- 遠くの学校でもオンラインなどで授業を受けられる環境(高校生)
- もっとタブレットを活用しながら授業を受けたい(特支中学部)
- オンラインでの授業や同学年の他の県などの人との交流をもっと増やしてほしい(中学生)
- タブレット、パソコンを活かして世界の人達と関わりたい(小学生)

ポイント

- 1人1台端末をもっと使って授業を受けたり、他校や海外と交流をしたい
- オンライン授業を受けられる環境を整えて欲しい



書いてある場所

柱01-⑤ 遠隔教育センターを中心とした教育DXの推進

- ICTの活用により地理的条件に関わらず、子どもたちの興味や関心、進路希望等に応じた多様で豊かな学びの拠点となる「遠隔教育センター」を設置(P18)
- 対面での交流を充実させるとともに、1人1台端末を最大限に活用し、子どもたち同士がオンラインで学校や地域、国を越えて交流したり学び合ったりすることができる取組を推進(P18)

- 教員の一存で物事を決めるのではなく、生徒会など生徒の意見を聞き、生徒が運営することで初めて「生徒主体の学校」と名乗ることが出来るようになる(高校生)
- 文化祭では生徒が主体となっているような高校にしてほしい(高校生)
- 生徒の意見にもっと積極的に耳を傾けてほしい(中学生)
- もっと子供の意見を聞いてほしい(小学生)

- もっと児童生徒の声を聞いて欲しい
- 児童生徒が主役の学校がいい



柱02-② 児童生徒が主体的に参画する学校づくりの推進

- 児童会・生徒会活動の活性化、学校行事や校則見直し等への積極的な関与など児童生徒主体の学校づくりを推進(P20)
- こども基本法の趣旨等を踏まえ、子どもの人権、権利、利益の擁護を図り、意見表明の機会確保に努めるとともに意見聴取や対話を通じて、子どもたちの意見を取り入れたこども関連施策を推進(P20~21)

①「第四期長崎県教育振興基本計画」への意見の反映

みなさんの意見

- 「No.4 理想の先生はどんな先生」で、「授業の教え方が分かりやすい」が小中高全てで最も多い
- 先生が生徒一人一人にもっと寄り添ってほしい!(高校生)
- 先生が忙しそうなので、ゆっくりお話がしたい(小学生)
- わからないことを聞いてもすぐに答えてくれる、相談に乗ってくれる(中学生)
- 学力を上げるために、一人ひとりをちゃんと見てほしい(中学生)

- 保険や光熱費や払わなければならない税金などについて教えてほしい、自分はそういった知識が全くないので将来ちゃんと覚えられるかどうか不安です(高校生)
- 税金やお金に関わる学習を詳しく勉強したい(中学生)
- 学校で地域おこしとして商品開発をしている学校には魅力を感じます(中学生)

ポイント

- 一人一人にしっかりと向き合ってくれる先生がいい
- 授業が分かりやすく、質問にも答えてくれる先生がいい



- 将来、社会に出た時に必要となるお金に関する事などを詳しく学習したい
- いろんな人と協力しながら地域のために活動したい



書いてある場所

柱02-③

子どもたちのために教員が輝く「働きがい」改革

- 教員自身が生き生きと指導に当たることが大切であるため、教員の労働環境改善を着実に進めるとともに、資質向上にかかる研修制度を見直すなどして、一人一人が教職の魅力や働きがいを実感しながら、子どもたちと向かい合うことができるよう各種取組を推進(P21)

柱02-⑤

新しい時代に求められる学びの提供

- 自分自身で情報を適切に判断し行動する自立した社会の一員を育成するため、関係機関や団体とも連携した主権者教育・消費者教育・金融教育の充実(P22)
- 子どもたちが地域の課題を主体的に発見し、地域の多様な他者と協働しながら課題解決する探究学習やSTEAM教育等の教科等横断的な学習の充実を通じた、子どもたちの主体性やリーダーシップ、創造性、協働性の育成(P22)

①「第四期長崎県教育振興基本計画」への意見の反映

みなさんの意見

- 悩み事があったら気軽に相談できる場所があってほしいです(小学生)
- 学校の設備(トイレなど)をもっと充実させたり、きれいにしたりして欲しいです(小学生)
- もしかしたら、足の不自由な人が来るかもしれないから、段差などに坂みみたいなものをつけると車椅子の人でも通いやすいと思う(中学生)

ポイント

- 学校で悩みを気軽に相談できる場所があるといい
- 学校施設の改修やバリアフリーを進めて欲しい



書いてある場所

柱02-⑥

子どもたちが安心して学べる環境の整備

- いじめや不登校、児童虐待、ヤングケアラーなど悩みや困難を抱えるあらゆる児童生徒に対し、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置拡充や教育相談体制の充実(P23)
- 計画的な改修により、老朽化等による事故防止に努めるとともに、生徒の学び方に合わせた教育環境整備や学校の実情に応じたバリアフリー化を推進(P23)

②「第五次長崎県子ども読書活動推進計画」への意見の反映

みなさんの意見

- 図書館を増やしてほしい(小学生)
- (地域に)図書館が少ないからもっと増やしてほしい(中学生)

- 図書室にもっとたくさんのジャンルの本があればいいのに!(小学生)
- もっと学校の図書室の蔵書数を増やしてほしい(中学生)
- 電子書籍を学校に導入してほしい(高校生)
- 「No.11 電子書籍を読んでいますか」で、年齢が上がるにつれて、電子書籍を読んでいる割合が大きくなっている

ポイント

- 地域の図書館を増やしてほしい



- 学校図書館の蔵書を充実してほしい
- 電子書籍を学校に導入してほしい



書いてある場所

第4章

3 地域における子ども読書活動の推進

〈県の取組(働きかけ)〉

- 多様な子どもの読書を支える環境の整備、充実のため、電子書籍貸出サービスやデジタルアーカイブを充実(P24)
- 地域子ども教室、放課後児童クラブ、公民館、児童館、子育て支援センターや子ども食堂の読書環境の整備と図書ボランティア等による読み聞かせや朗読会などの開催を呼びかけ(P23)

第4章

4 学校等における子ども読書活動の推進

〈期待される取組例〉

- 移動図書館や協力貸出、電子図書館などの公共図書館のサービスを積極的に活用(P26)

〈県の取組(働きかけ)〉

- 公共図書館等の団体貸出サービスを利用し、全ての子どもがより多くの本に親しむことのできる環境を整備(P28)

②「第五次長崎県子ども読書活動推進計画」への意見の反映

みなさんの意見

- 図書館に簡単に本が探せる(自分で調べられる)機械がほしい!(小学生)
- 図書館で調べ物ができるようにしてほしい(中学生)

- 学校では、もっと本を、読みたい!(小学生)
- 学校の図書室を利用しない人がいるから図書室を利用する授業の時間を作ったらいいと思う(中学生)
- 読書の時間をとってほしい(高校生)

- 図書室に新しく入れてほしい本のアンケートを行ってほしい(小学生)
- 学校にもっといろんな本、自分が好きな本をおいてほしい(小学生)

ポイント

- 自分が読みたい本が学校図書館にあるのか、または、借りられるのかを自分で調べたい
- 図書館の資料を利用して、調べものをしたい

- 読書の機会を増やしてほしい

- 子どもが読みたい本を学校図書館に置いてほしい



書いてある場所

第4章

4 学校等における子ども読書活動の推進

〈県の取組(働きかけ)〉

- 一人一台端末を活用した読書活動の推進(P28)
- 学校図書館の機能(「読書センター」「学習センター」「情報センター」)の充実(P27)

〈県の取組(働きかけ)〉

- 「学校図書館教育全体計画」や「学校図書館年間指導計画」に基づく、学校図書館を活用した学習活動を計画的に実施(P27)
- 朝の読書や読み聞かせ、すきま読書など、全校で取り組む読書活動を設定(P27)

〈県の取組(働きかけ)〉

- アンケート等による子どもの意見を学校の読書活動に反映(P27)

③「令和6年度の長崎県主要施策」への意見の反映

みなさんの意見

- 理想の先生の質問で、「授業の教え方が分かりやすい」が小中高全てで最も多い
- 先生が生徒一人一人にもっと寄り添ってほしい!(高校生)
- 先生が忙しそうなので、ゆっくりお話をしたい(小学生)
- わからないことを聞いてもすぐに答えてくれる、相談に乗ってくれる(中学生)
- 学力を上げるために、一人ひとりをちゃんと見てほしい(中学生)

- 授業で外部の人と関わったり、外部に出たりして普段の授業では学べないことをたくさん学びたい(外部講師を招いての授業やインターンシップなど)(高校生)
- もっと大学以降で学ぶような専門的な深い学びができる環境が欲しい(高校生)
- 進学先に行くのに有利になる資格の取得を望む生徒に、学校に講師を招いて授業外で講義をしてもらう(高校生)
- 就職に役立てるために地域の企業について知る機会をたくさん設けてほしい(高校生)
- 学校で情報やプログラムの勉強をしたい!(高校生)

ポイント

- 一人一人にしっかりと向き合ってくれる先生がいい
- 授業が分かりやすく、質問にも答えてくれる先生がいい

- 普段の授業では学べないようなことを外部講師の専門家から学びたい
- 地域の企業のことをもっと知る機会がほしい

令和6年度の新たな取組や充実させる取組

【事業名(予算額)】

教員のなり手不足解消プロジェクト費

(59,591千円)

- 業務支援員の配置やデジタル採点システムの導入、モデル校における実践研究などの教員の業務負担軽減につながる取組を進め、優秀な人材確保による子どもたちへのより良い教育を実現



【事業名(予算額)】

NEXT 長崎人材育成事業費(12,925千円)

- 社会情勢の変化に対応できる人材を育成するため、大学や産業界等と連携して、企業見学や専門的な講座、アントレプレナーシップ教育の充実や高校生アプリ開発コンテストを実施



③「令和6年度の長崎県主要施策」への意見の反映

みなさんの意見

- 遠くの学校でもオンラインなどで授業を受けられる環境(高校生)
- パソコンを活用した授業の推進やリモート授業などの取り組みなどを検討して頂きたいです。(高校生)
- 生徒会活動について行き詰まることが多いので、長崎県の学校(中学校も高校も離島の学校も)が集まって(オンラインでも)生徒会活動について話し合う場があったらいい(中学生)

- 不登校の人でも気軽に通える教室がほしい(中学生)
- 不登校の子たちが勉強できる教室があったらいいのに(小学生)

ポイント

- オンライン授業を受けられる環境を整えて欲しい
- 住む場所や年齢を超えて様々な人たちと交流する機会があったらいい

- 不登校の子どもが学校内で安心して学べる居場所があったらいい

令和6年度の新たな取組や充実させる取組

【事業名(予算額)】

長崎県遠隔教育センター(仮称)開設準備事業費
(20,553千円)

- 令和7年度開設予定の長崎県遠隔教育センター(仮称)が提供する配信コンテンツの開発や受信校の機器の整備等を実施



【事業名(予算額)】

学校内外における児童生徒の学びの場創出事業費
(33,335千円)

- 小中学校における校内教育支援センターの設置を促進するとともに、不登校児童生徒へ多様な学びの場や居場所を確保・提供し、学校復帰を含めた将来的な社会的自立に向けた支援を充実



③「令和6年度の長崎県主要施策」への意見の反映

みなさんの意見

- ICTをもっと活用して、先生・生徒双方にプラスになる取り組みを増やしてほしい(高校生)
- パソコン関係やインターネットの基本や使い方をもっと知りたい(小・中学生)
- もっとパソコンを自由に学習で使わせてほしい(小学生)
- もっとインターネットやICT、SNSなどについての勉強をしたい(中学生)
- 端末を使える範囲を増やして、もっと生活になじませたい(中学生)

ポイント

- ICTをもっと活用して、より良い学びにつなげたい
- インターネットやSNSの使い方に関心がある、正しい使い方を知りたい



令和6年度の新たな取組や充実させる取組

【事業名(予算額)】

令和の長崎スクール事業費(4,993千円)

- 「令和の日本型学校教育」の理解と具現化に向け、「個別最適な学び」や「情報活用能力」等の子どもたちに育成すべき資質・能力の向上とその土台となる環境整備を推進

【事業名(予算額)】

こどもまんなかメディアリテラシー向上事業費
(2,501千円)

- 子どもたちがインターネット・電子メディアのリスクと安全性の兼ね合いを自ら考え、大人や社会に対する提言を広く発信することで、インターネット等を安心して利用できる環境づくりを推進

【事業名(予算額)】

長崎県遠隔教育センター(仮称)開設準備事業費
※事業内容はP12に記載
(20,553千円)

【その他の取組】

情報モラル教育教材「SNSノート・ながさき」を改訂して、子ども同士の話し合いを通して上手な情報活用と情報モラルをセットで学ぶことができる教材を作成

③「令和6年度の長崎県主要施策」への意見の反映

みなさんの意見

- 近くに友達と一緒に宿題をしたりゲームをして遊んだりできる場所がほしい(小学生)
- こども食堂を開いてほしい(小学生)
- 本格的にスポーツに取り組める環境を増やしてほしい(小学生)
- 気軽に自習できる施設を作してほしい(中学生)
- 夜遅くまで勉強ができる場所がほしい(高校生)
- 中高生が好む新たなお店やスポットを増やしてほしい(高校生)

ポイント

- たくさんの居場所を作してほしい
- 子どもたちそれぞれの希望に合う居場所を作してほしい

令和6年度の新たな取組や充実させる取組

【事業名(予算額)】

こども場所等官民連携プロジェクト費

(28,001千円)

- こどもが安心できる居場所などの「こども場所」の充実を促進するため、多様な主体の活動を支援する体制整備や、民間団体等による居場所づくり支援のための持続可能な仕組みを検討

